

2023年12月期 第2四半期決算説明資料

当社の設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績は
モバイルクリエイイト株式会社の連結実績で集計しております



2023年12月期第2四半期決算概要	p. 2
事業のトピックス	p. 8
参考資料：中期経営計画概要	p. 20
参考資料：2023年12月期第2四半期補足資料	p. 24

2023年12月期第2四半期決算概要

既存メイン事業の業績は好調継続

ロボット関連を成長領域としての活動を推進中 大手の半導体メーカーや自動車メーカーへ導入が進み始める

通期業績予想を上方修正（売上高は130億円を135億円へ、営業利益は5.2億円を8.0億円へと修正）

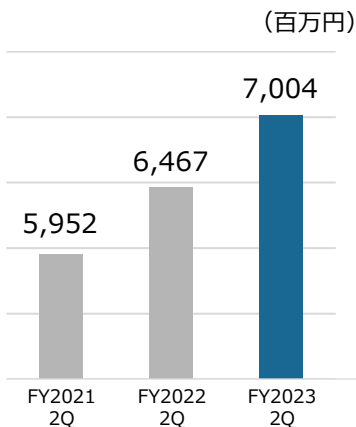
- ✓ 懸念であった部材調達不足については、現行部材と代替部材の調達確保や新規デバイス開発にて調達不足の懸念は後退
- ✓ 部材価格高騰分については価格転嫁を進める
- ✓ サブスク売上高は順調に拡大（前年度大型案件の横浜敬老パスは運用に移行済）
- ✓ ロボット関連は、グループ内でのロボット展開と資本業務提携先（株式会社匠）との連携を強化
- ✓ ペイメントは非接触決済の新サービスを開発中、決済システムは交通分野以外で自治体へも初導入決定

FY2023 2Q 業績サマリー

売上高

70.0億円

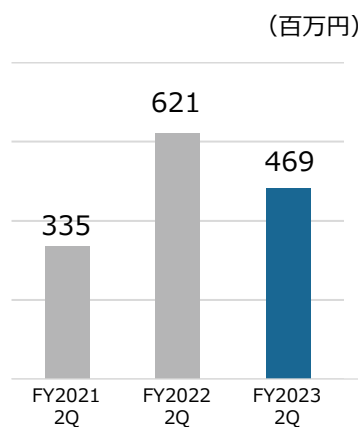
前年同期比：8.3%
通期業績予想：13,500 百万円
進捗率：51.9%



営業利益

4.7億円

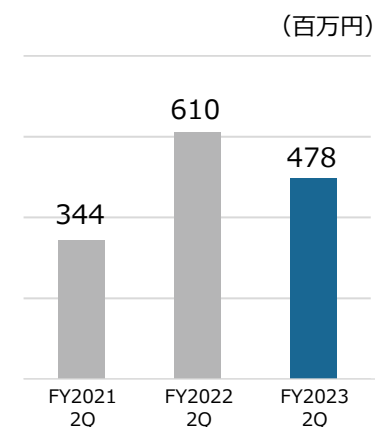
前年同期比：△24.4%
通期業績予想：800 百万円
進捗率：58.7%



経常利益

4.8億円

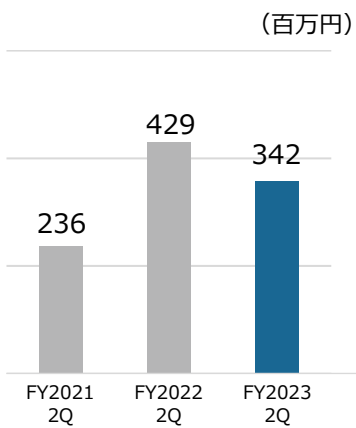
前年同期比：△21.6%
通期業績予想：765 百万円
進捗率：62.5%



最終利益

3.4億円

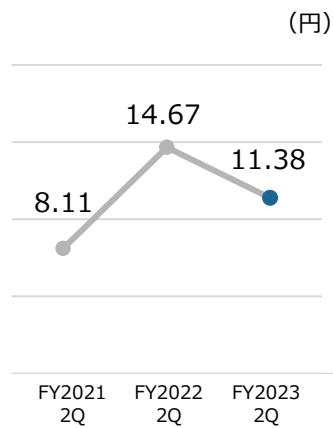
前年同期比：△20.3%
通期業績予想：535 百万円
進捗率：64.0%



EPS

11.38円

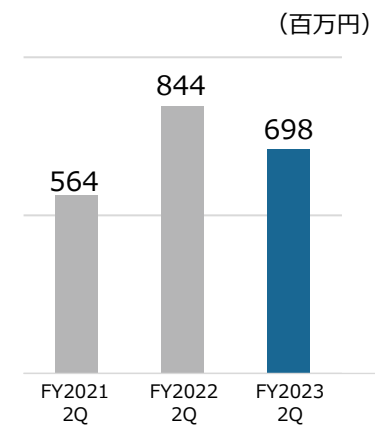
前年同期比：△3.29 円
通期業績予想：17.40 円
進捗率：—



EBITDA

7.0億円

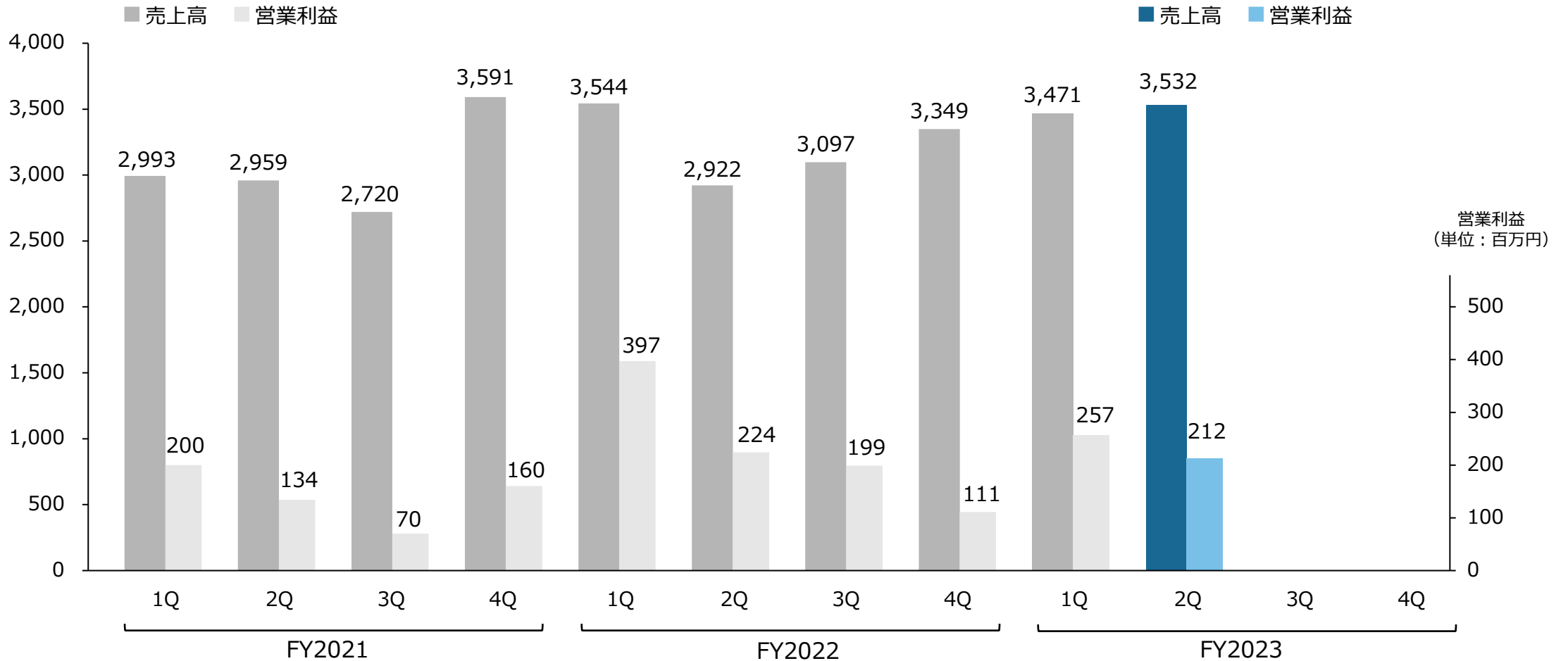
前年同期比：△17.3%
通期業績予想：—
進捗率：—



※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益
※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

四半期業績（売上高・営業利益）

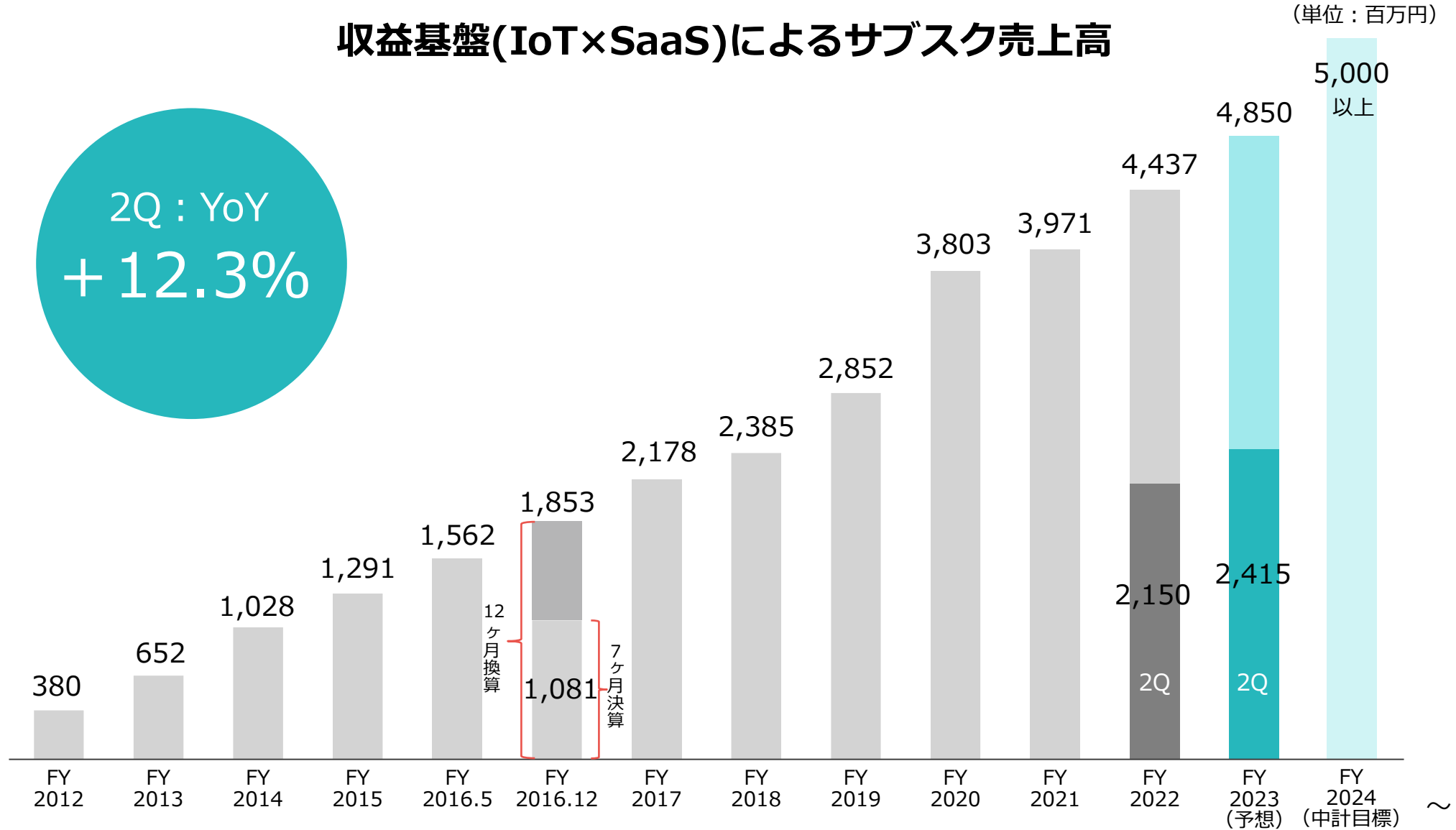
売上高
(単位：百万円)



収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高

(単位：百万円)

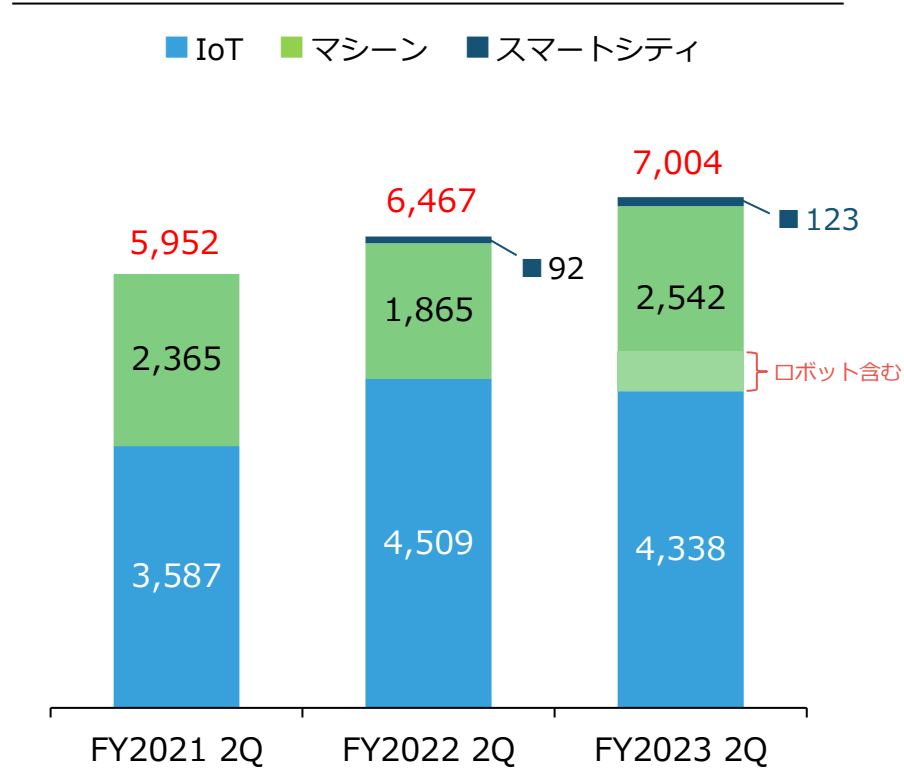
2Q : YoY
+ 12.3%



セグメント別業績（2Q累計）

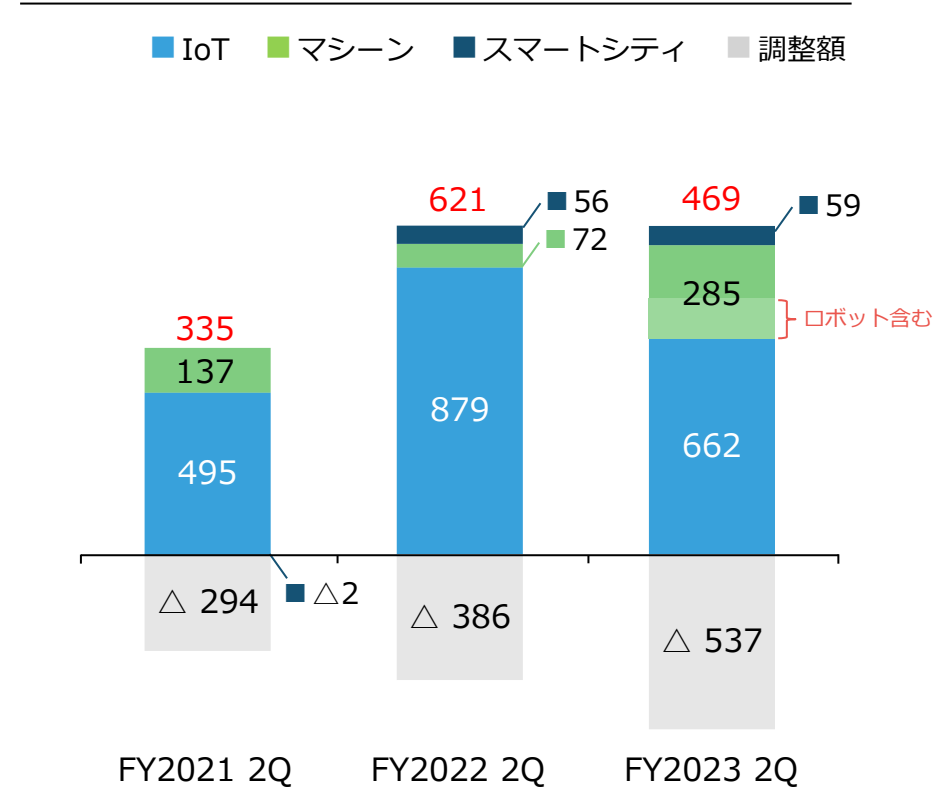
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



事業のトピックス

累積契約台数 **13万** 台突破

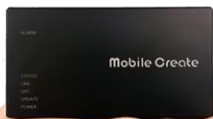


NEW 2023年7月12日販売開始

物理キーボード付きスマホ型IP無線機 **IM-560**

ハイスペックモデルであるIM-550のサイズと性能をよりアップグレード。画面サイズはIM-550の1.5倍。多彩な通話モードに動態管理、画像・動画の送受信、国内最高クラスの防塵・防水性能IP68を同様に備え、さらにGMS認証を取得。スマホ型IP無線機へと進化しました。

- 物理キーボード付きのスマホタイプ
- GMS認証を取得、Android12搭載
- パワーアップしたバッテリー&カメラ



NEW 2023年6月5日販売開始

位置情報管理に特化したGPS端末 **IM-830**

動態管理システム「モバロケ」のみを手軽に利用したいというお客様のニーズから誕生したGPS端末。位置情報を主としたシンプルな機能とすることで、導入しやすい価格を実現。API連携により「IM-830」から「モバロケ」以外の位置情報管理システムに位置情報を連携することも可能で、さまざまな業種・業界をはじめ、プログラミング教材などの用途でも利用可能です。

- 事業用として耐えられるスペック、高精度な位置情報を取得
- 車両等への取り付けやすさ
- 電池切れの心配なし

ハンディタイプ



IM-550 IM-530

車載タイプ



IM-870 IM-860

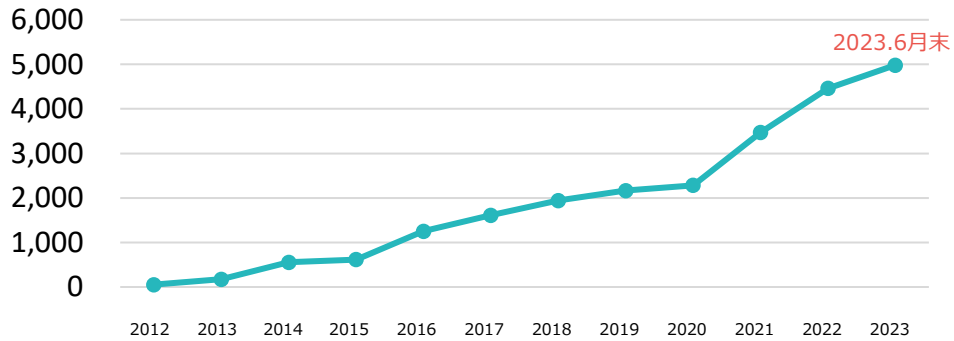
スマホアプリ



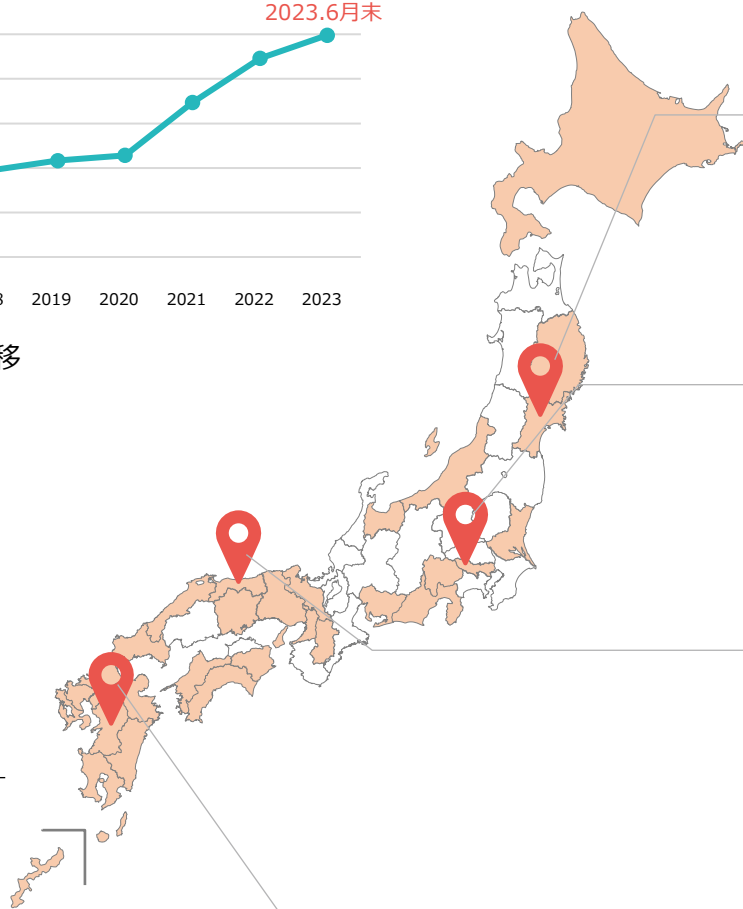
iMESHアプリ版

現在全国29都道府県の自治体に約**5,000**台導入済

2021年期初～自治体への導入台数は倍増



累計導入台数推移



導入事例

宮城県・仙台市

実際の運用を想定したグループをあらかじめ設定しておくことで、通話の利便性はさらに向上

861台導入



東京都北区役所

主要施設にIP無線を配備より正確に現地の様子を把握でき、情報共有のスピードも向上

419台導入



鳥取県

市町村合併により新たに通信系統を一本化スムーズな情報伝達を実現

160台導入



熊本県 人吉市他周辺6市町村

人吉下球磨消防組合大規模災害に備え消防署、消防団、自治体をつなぐ無線ネットワークを構築

166台導入

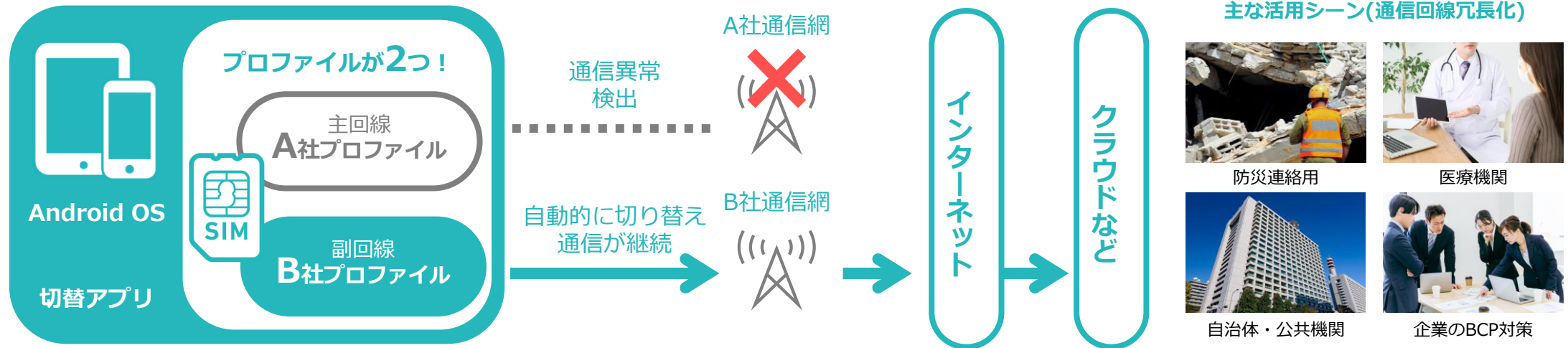


モバイルクリエイイトとIIJ

業務用Android OS搭載端末で通信キャリアを自動切り替えできる仕組みを共同開発

- ✓ モバイルクリエイイトの業務用端末向けアプリケーションと、株式会社インターネットイニシアティブ（IIJ）のマルチプロファイルSIMを連携させ、通信障害時にプロファイル（携帯電話網に接続するための情報）を自動的に切り替えるアプリを共同開発
- ✓ 今後両社は、業務用端末を製造するメーカー向けに本ソリューションを提供
- ✓ モバイルクリエイイトの主力製品である業務用IP無線システム「iMESH」シリーズに、本ソリューションを順次導入予定

A社の通信網に障害が発生して接続ができない場合、もう片方のB社の通信網に接続し通信を継続します。



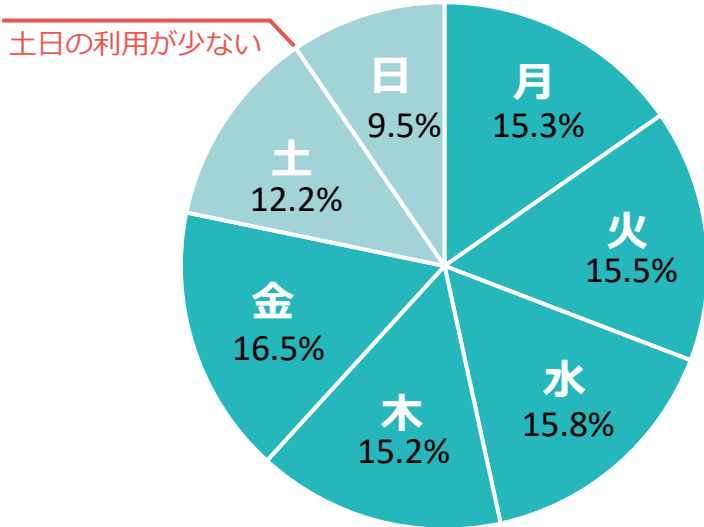
マルチプロファイルSIMは、一枚のSIMで複数の携帯電話回線に接続できるSIMです。

横浜市敬老パスIC化

- ✓ 横浜市内を運行するバス約3千台と地下鉄40駅にリーダーを設置
- ✓ 利用者がIC化された敬老パスをかざすことでカードの有効期限などから利用可否を判断し計数を行うシステムが2022年10月より本格稼働開始
- ✓ センター集約型のABT方式（Account Based Ticketing）にてシステムを構築しているため柔軟な拡張が可能

半年間（2022年10月～2023年3月）の実績データ

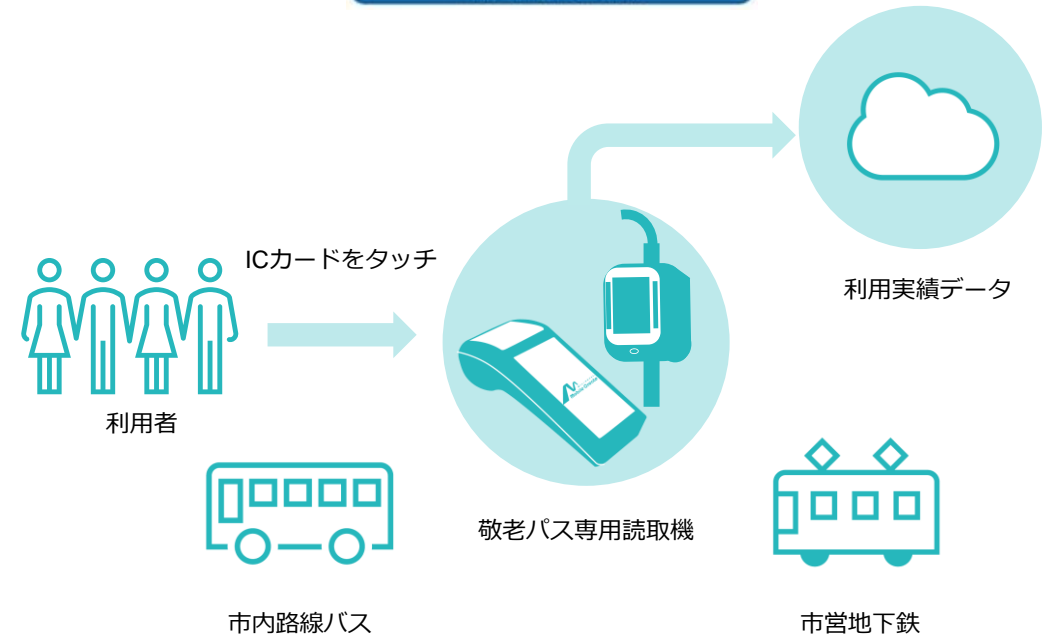
合計利用回数 4,820万回



抽出例：曜日別平均利用回数内訳



横浜市民 約40万人に交付



大分空港バスモバイルチケット「バスチケ大分」

- ✓ 2022年3月から運用開始
- ✓ センター集約型のABT方式（Account Based Ticketing）を採用
- ✓ LINEからWEBクレジットカード決済にて購入したチケット情報をクラウドサーバで管理（オンラインでチケット消費判定）

LINEで友だち登録！



友だち登録者数5万人突破記念イベントの様子



ドローン事業の新たな取り組み

自社製フライトコントローラの開発に着手

- ✓ オープンソースを活用したドローン用の自社製フライトコントローラの完成を目指す
- ✓ ciRoboticsとモバイルクリエイトの共同開発
- ✓ 令和5年度大分県ドローン産業研究開発事業補助金を活用

ciRobotics

Mobile Create
創りたい未来がある。



フライトコントローラとは？

GPSやジャイロ、加速度センサを搭載した、ドローンの挙動をコントロールする心臓部に当たる装置

現状の課題

✂ 海外製品ではカスタマイズ可能な範囲に限られる

🔒 セキュリティの強化

🛠 機体の安全性の向上

自社開発のメリット

✓ 国内メーカーとの連携や汎用性、カスタマイズの範囲が広がる

✓ 国内のサーバを利用することで、2022年に経産省が策定したサイバーセキュリティガイドラインに対応

✓ 2022年12月5日に改正された航空法の機体認証に対応

国内最大級の農業用ドローン

ciDroneAG R-70

70Lタンクを備え、これまで積載量不足によって非効率的だった空中散布登録のとれない薬剤の効率的な散布を実現



大分県内で発生した大雨による災害現場にドローンの機体を提供

全国初 実災害でのドローンによる救援物資配送

- ✓ 2023年6月30日からの大雨により、大分県由布市湯布院町川西地区では大規模な地すべりが起こるとともに孤立世帯が発生
- ✓ ciRoboticsがドローンの機体提供を行い、雨で防災ヘリが出動できない中、孤立世帯への救援物資配送に使用された

ciRobotics

提供機体：物資運搬ドローン ciDrone TR-22
最大積載可能重量：20.0kg

- ✓ 飛行ルート約120mを3分で配送完了（孤立地域まで消防本部は約2時間かかる）
- ✓ 大分県内での実災害でのドローンによる救援物資配送は初めての事例
- ✓ 県内事業者のみで救援物資配送を行ったり発災直後に対応した事例は全国初※

※大分県調べ



出典：国土地理院ウェブサイト 地図・空中写真閲覧サービス
(<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>)
上記から取得した画像をもとにFIG株式会社作成



人間の立ち入り可能区域からの映像



地すべりの全容ドローンからの映像



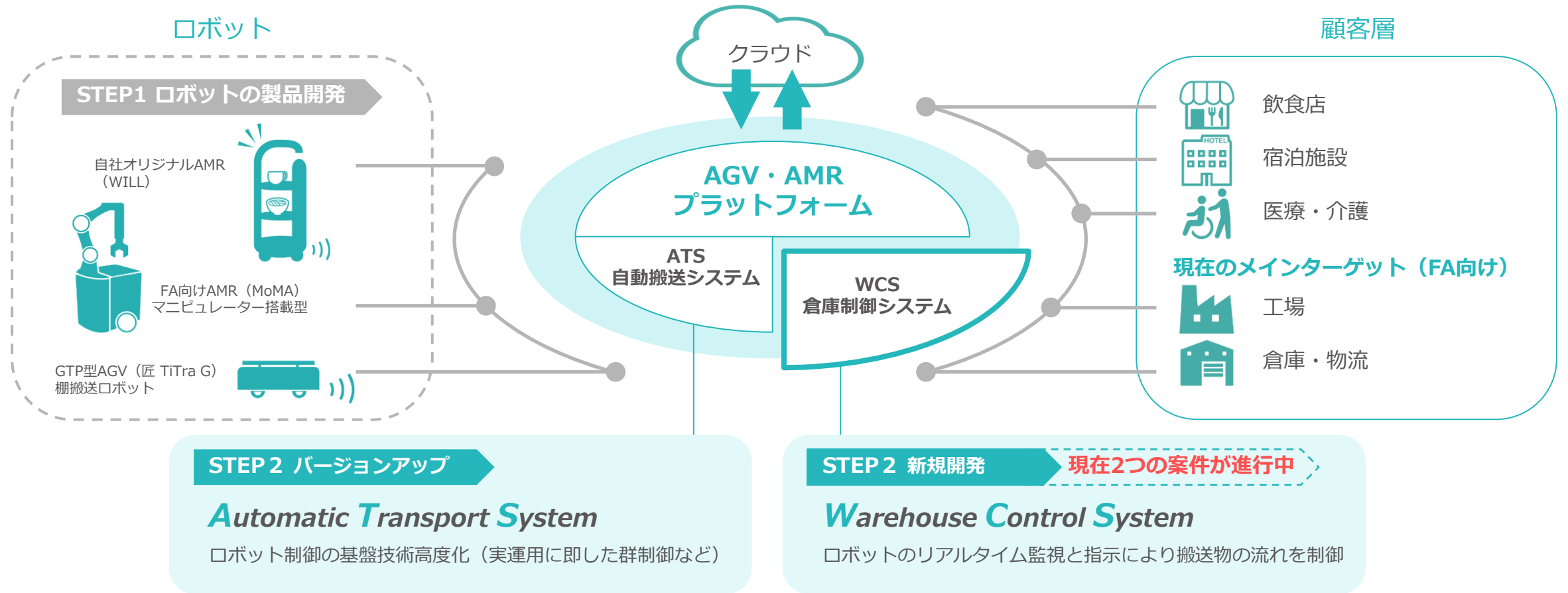
救援物資（約5kg）をコンテナに積み、孤立地域へ配送



電動ウィンチシステムを用い、着陸することなくコンテナを地面におろす
コンテナが地面に着いたら自然と開く、自動開放フックを採用

ロボット事業の成長に向けた取り組み

ロボット製品化に加えてWCS（倉庫制御システム）の内製化に着手
垂直統合型システム（ロボット～ATS～WCS）とデジタルツインを活用した提案にて競争優位性を確保



FY2023売上目標10億円は達成見込み、FY2024に売上高拡大へ

ロボット事業 3DCGパース空間による導入提案



ロボット事業 提携先の株式会社匠とGTP分野（棚搬送ロボット）で国内トップを目指す



CGアニメーション

參考資料

中期経営計画概要

FY2022 – FY2024

実績値と直近の業績予想については数値を更新しております

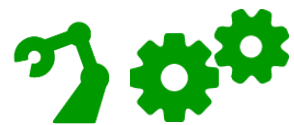
IoT事業を支えるマシン事業とスマートシティ事業

IP無線 タクシー バス トラック ペイメント ホテル ロボット ドローン

IoT（基盤拡大+成長投資）



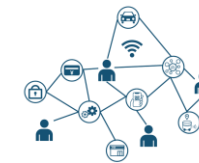
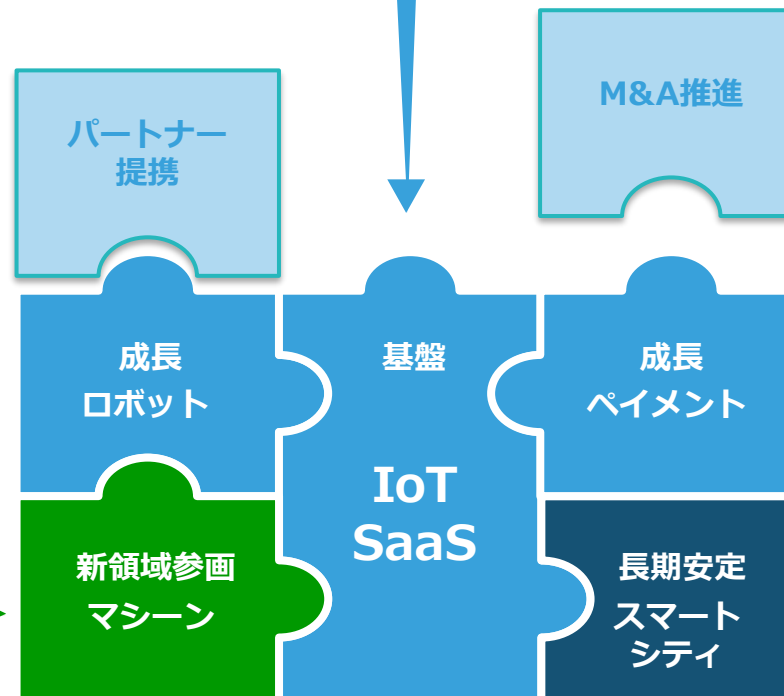
積極的投資とM&A推進による成長
 基盤のIoT×SaaS事業拡大
 ペイメント事業とロボット事業を新たな中核事業に発展（3年後に単独セグメント化を目指す）



半導体製造・自動車関連装置
 ロボット製造

マシン（改革・新領域参画）

IoTに必要なモノづくりの技術領域として
 規模拡大ではなく質の向上（収益改善）
 ロボット事業に本格的参画（改革）



スマートシティ（長期安定）

賃貸マンション30年一括借上契約
 の長期安定収益
 スマートシティの実証フィールド
 としてIoTを支える



KPI（収益と資本効率）

	FY2021（実績）	FY2022（実績）		2023.7.31業績予想修正 FY2023（予想）	FY2024（KPI）
サブスク売上高	39.7億円	44.3億円	→	48.5億円	50.0億円以上
営業利益	5.6億円	9.3億円	→	8.0億円	11.0億円以上
EPS	15.12円	23.36円	→	17.40円	24円以上
ROE	5.2%	7.5%	→	—	8%以上
ROIC	2.7%	3.8%	→	—	4.5%以上
売上高（全体）	122.6億円	129.1億円		135.0億円	—
株主資本コスト <small>（CAPMによる算出）</small>	4.8%	5.3%			
WACC	2.9%	3.3%			

2023年12月期第2四半期補足資料

セグメント別業績（四半期推移）

単位：百万円

売上高	2022年12月期					2023年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	3,544	2,922	3,097	3,349	12,914	3,471	3,532			7,004	+537	8.3%
IoT	2,389	2,120	2,172	1,991	8,672	2,217	2,120			4,338	△170	△3.8%
マシーン	1,119	746	859	1,295	4,020	1,191	1,350			2,542	+676	36.3%
スマートシティ	36	55	66	62	220	62	61			123	+31	34.0%

営業利益	2022年12月期					2023年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	397	224	199	111	932	257	212			469	△151	△24.4%
IoT	560	318	349	181	1,410	445	217			662	△216	△24.6%
マシーン	△2	74	40	146	259	60	225			285	+212	292.9%
スマートシティ	20	36	27	31	115	30	29			59	+2	5.1%
調整額	△181	△205	△218	△248	△853	△278	△258			△537	△151	-

貸借対照表

単位：百万円

	2022年12月期末		2023年12月期2Q			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	14,058	65.5%	14,135	64.8%	+76	現金及び預金 +183 流動資産その他 △248
うち現預金	2,199	10.2%	2,383	10.9%	+183	
固定資産	7,405	34.5%	7,687	35.2%	+281	投資有価証券 +230
資産合計	21,463	100%	21,822	100%	+358	
流動負債	5,803	27.0%	5,980	27.4%	+177	短期借入金 +109 1年内返済予定の長期借入金 +160
固定負債	5,951	27.7%	6,033	27.6%	+82	
負債合計	11,754	54.8%	12,013	55.1%	+259	
純資産合計	9,709	45.2%	9,808	44.9%	+99	
負債・純資産合計	21,463	100%	21,822	100%	+358	

会社概要



Future Innovation Group

FIG (東証プライム・福証本則)

純粋持株会社

商号

FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)

設立

2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイイト設立は2002年

代表者

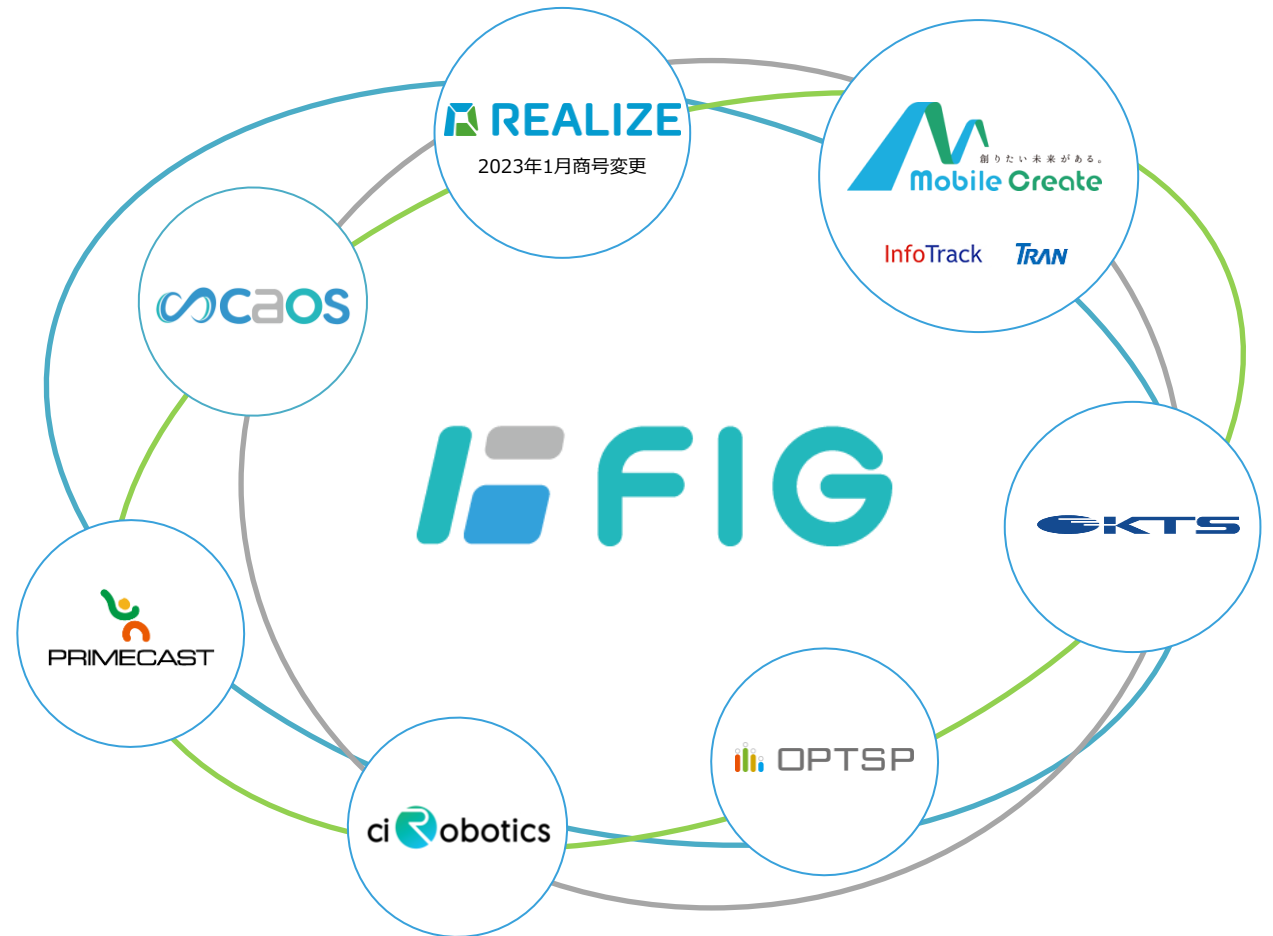
代表取締役社長 村井 雄司

所在地

大分県大分市東大道二丁目5番60号

従業員数

739名 (2022年12月末現在連結)



FIGグループの主な事業紹介

IP無線システム



携帯インフラを活用したIP無線システムのパイオニア。主力の車載タイプに加えて、防災市場ではハンディタイプが好調でLINE連携も展開。

タクシー配車システム

タクシー配車システム、車載端末はタブレット化でメーターと連動。配車室受託が好調で、ユーザー向けLINE配車もサービス開始。



ペイメント

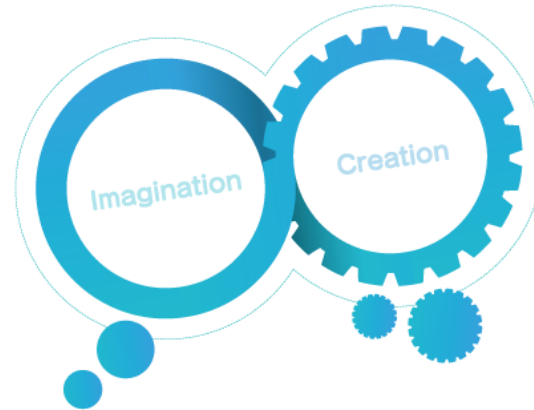
得意とする公共交通を中心にペイメントサービスを展開し、高いセキュリティ基準であるPCIDSSも取得。沖縄本島IC乗車券システムのOKICAは、商業拡張をスタート。



バスロケーションシステム



バスの経路や乗り継ぎ検索、接近情報などをバス利用者へ提供。バスロケーションシステムでは、国内トップレベルのシェア。デジタルサイネージや混雑情報システムなども展開。



半導体・自動車関連自動化装置

自動車部品を製造する装置を開発から設計・製造・組立・販売・サービスまでトータルで手掛け、メーカーとして高い評価を得ています。



ホテルスマート化



ビジネスホテルやシティーホテル向け客室のマルチメディアシステム、リネンシステム（客室清掃管理）や施設混雑案内システムなどIoTを活用しています。

ロボット



マップデータを元に走行を行い、マニピュレーターが人の代わりに作業を行います。ロボットシステムインテグレーターだけでなく、自社オリジナル搬送ロボットも開発。

ドローン



産業用ドローンの開発・販売を行っています。ドローン活用における省人化の実証実験にも参画しています（ドローン宅配・スマート農業・血液検体の輸送など）。

ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略でサステナブル経営を目指す



Environment

ITで地球環境負荷低減へ貢献

- 自社の製品・サービスによる環境負荷低減
- 事業活動で排出される廃棄物削減、資源化率の向上、自然エネルギーの利用
- 有害物質使用削減への取り組み
- 地域環境の保全



Social

グループの技術で快適な未来を創造

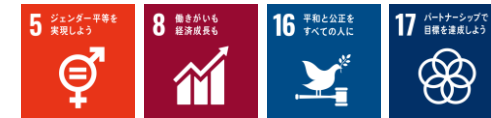
- Society5.0の社会を支える技術・サービスの提供（ドローン・ロボット）
- 持続可能な地域交通に貢献する（バス・タクシー）
- キャッシュレス化社会の実現に貢献する
- MaaSの普及に貢献する
- 防災・減災・安全に貢献する
- スマートホテルを実現する技術の追求
- はたらきやすさ（健康増進・ダイバーシティ推進）を提供する



Governance

経営基盤を強固にするためのガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの徹底
- 社外役員の登用
- 役員報酬額の決定方法
- コンプライアンスの順守・研修の実施
- 反社会的勢力排除への対応
- 情報セキュリティの強化





【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。